

外出支援調査票

記入例（寝たきり以外の場合）

庄内町高齢者外出支援事業

調査実施日時	令和〇〇年〇月〇〇日	対象者氏名	庄内 太郎
※該当する方に○	在宅（ <u>2</u> 度目以降の通院）・入院中（退院後の通院 有）		
※どちらかに該当する方が申請できます。			

●家族の状況

	氏名	続柄	生年月日	職業	状況
家族構成	庄内 〇〇	子	S00.00.00	農業	・職業は、他に自営業や公務員等(勤務先等は不要) ・状況は同居していない等の特記があれば記入 ・同居者がいない場合でも同乗者が必要なため、その際は同乗する親戚等を記入
	△△	子の妻	S00.00.00	無職	
	□□	子の子	H00.00.00	会社員	
	▲▲	子の子	H00.00.00	学生	

・歩行、座位保持の状況は、認定調査の定義に準じて記入

●調査対象者状況

歩行	できない <u>つかまれば可</u>	つかまれば可の場合、介護タクシーを必要とする理由を総合的所見に記載
座位保持	できない・ <u>支え必要</u> 自分で支えれば可・できる	自分で支えれば可又はできるの場合介護タクシーを必要とする
車いすの必要性	<u>有</u> ・ 無	<u>自分の車いすを使用</u> ・ 車いすを借りたい
ストレッチャーの必要性	有 ・ <u>無</u>	ストレッチャーを借りる

①経済的な理由 ②送迎等介護する者のいないこと
③歩行ができるのに歩行しないこと(認知症等によるものは病的なものは除く) は含めないこと

●調査対象者の外出支援の必要度に関する総合的所見

歩行困難、座位保持困難に至る病歴等：令和〇〇年〇月に脳梗塞を発症し、右半身が麻痺。
昨年〇〇月に転倒による骨折で歩行に支障をきたし、常時車イスを使用するようになった。
認定調査後の骨折のため調査時より歩行・座位保持とも悪化し、区分変更申請を検討中。
歩行は屋内で手すりにつかまれば少々できるが転倒の危険があり、ほぼ車イスで移動。
座位保持は部屋などで他の人に起こしてもらえば座っていられるが、右手が麻痺のため
車などでの移動には踏ん張りが利かずに危険が伴う。
記入者の最終所見：高齢者外出支援事業に該当することが <u>適当である</u> 適当ではない

介護認定時と現況が違う理由

記入者氏名	〇〇 □□	所属機関	〇〇介護センター
-------	-------	------	----------

歩行「つかまれば可」、及び座位保持が「自分で支えれば可又はできる」の場合は、介護タクシーが必要とされる理由を記入